

## 患者様およびその保護者の方へ

当科では卵黄消化管アレルギーの経過や検査結果について後方視的に調査を行っております。患者様のデータを用いて行いますが、患者個人のお名前や個人を特定できる情報が公表されることは一切ありません。

皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

研究課題名	卵黄消化管アレルギー (FPIES) において、診断時の卵白特異的 IgE 値が予後に及ぼす影響についての検討
研究責任者	国保中央病院小児科 中農昌子
研究目的	<p>鶏卵アレルギーの患者さんの多くは、食べて 2 時間以内に症状が出現する即時型といわれるタイプで原因の大半は卵黄ではなく卵白です。しかし即時型とは別に、FPIES (food protein induced enterocolitis syndrome、消化管アレルギーともいいます) という特異的 IgE 抗体が陰性で消化器症状のみをきたすタイプがあり、原因は卵黄であることが多く卵黄の FPIES では卵白を先に開始できます。</p> <p>ただ症状を認めた時の状況から卵黄 FPIES と判断しても、中に卵白特異的 IgE 陽性例も存在し即時型卵白アレルギーと鑑別が難しくなることがあり、卵白開始に伴うリスクについては注意する必要があります。</p> <p>当院で経験した卵黄 FPIES 患者さんの卵白特異的 IgE と治療経過について検討し、経口摂取による耐性獲得 (食べられるようになること) を目的とした早期からの卵白摂取を開始するための負荷試験実施タイミングについて調べます。</p> <p>この研究は、まだ本疾患についての検討は一般的に多く行われていないため、今後の FPIES 診療方法の参考になる可能性があります。</p>
研究概要、対象となる患者さま	2019.4 以降、当科で診断・フォローした卵黄 FPIES 患者さんが対象です。 検査の数値や経過について比較検討します。
本研究の適正性について	患者さんのデータは匿名化され、その情報も厳重に保管されますので、個人情報公表されることは一切ありません。また得られたデータを本研究の目的以外に使用することはありません。なお、本研究は国保中央病院の倫理審査委員会で承認を受け行っており、調査期間は 2022 年 3 月 31 日まで、解析期間は 2022 年 5 月 31 日までです。情報は研究終了後 5 年間保存し、その後破棄します。研究の資金源等に関する利益相反はありません。また、解析結果は小児科、アレルギーに関する学会で発表させていただきますが、患者様の個人情報公表されることは一切ありませんのでご安心ください。本研究の詳細な資料を閲覧されたい方は下記までお問合せください。
研究への参加辞退をご希望の場合	<p>この研究に関して新たに患者様にさせていただくことや負担は特にありません。本研究への参加を辞退される場合は、いつでもご遠慮なく研究責任者までご連絡ください。参加を辞退されても患者様が診療の上で不利な扱いをうけることはありません。</p> <p>本研究について直接おたずねになりたい場合は、下記までお問合せください。</p> <p style="text-align: right;">2022 年 1 月</p> <p>お問合せ先 ; 国保中央病院 小児科 研究責任者 ; 中農昌子 電話番号 ; 0744-32-8800</p>